

3．県内堆肥センターの現状と課題

1) 堆肥センターの調査に際し

堆肥センター調査は三重県の委託を受け、県内の堆肥センターの現状を明らかにし運営・流通における課題を検討することにより、県内の堆肥流通の促進を図ることを目的に平成17年度から実施しています。

なお、平成18年度の調査は、平成17年度に引続き、伊賀北部農協の協力を得て伊賀堆肥センター及び大山田堆肥センターを調査しました。

2) 伊賀北部農協の堆肥センター設置に対する取組

伊賀北部農業協同組合では、農協合併や市町村合併の進展により、より広域的な畜産環境整備が必要と考え、農協管内の畜産農家を対象とした家畜排せつ物利活用施設の整備に取り組んできた。

施設の整備は大規模となることから、国の補助事業を活用し、平成16年度から17年度の2ヵ年計画で実施した。

【平成16～17年度の施設整備の概要】

大山田堆肥センター

- ・ 発酵処理施設（スクープ式攪拌機） 1式（1,210 m²）

伊賀堆肥センター

- ・ 発酵処理施設（ロータリー式攪拌機） 1式（1,212 m²）
- ・ 堆肥舎 1棟（400 m²）
- ・ 運搬車 3台
- ・ ショベルローダ 2台
- ・ マニアスプレッタ 4台

中友生製品保管庫 1棟（319 m²）

3) 堆肥センターの運営

施設の管理運営は、伊賀北部農業協同組合が行い、専任職員1名が常駐し、アルバイトを伊賀堆肥センターに2名、大山田堆肥センターに3名配置し、業務を行っている。

伊賀堆肥センターでは、新しい機械設備での堆肥生産のために、施設調整や水分調整等の工夫など3月以上の期間を要して、ようやく良質堆肥の生産・販売にこぎつけた。

4) 堆肥の流通体制

堆肥の流通は、伊賀北部農協の各総合支店が窓口となり物流センターで管理されている。注文の受付は、堆肥センターで直接受ける場合もあるが、総合支店に内容が伝達されるシステムとなっている。

また、特別栽培米の推進を米麦課が行っているので、これに係る堆肥流通は各総合支店から米麦課へ伝達され、堆肥センターへ発注がある。

これに付随して、堆肥散布サービスを有料で行っている。堆肥散布は株式会社アグリが担当し、堆肥センターが堆肥運搬等の応援を行う体制もつくられている。この有料堆肥散布には伊賀北部農協の堆肥散布助成があり、特別栽培米の推進とともに堆肥流通の一助となっている。

また、マニアスプレッドは全6台のうち2台を堆肥センター、他の4台は総合支所4カ所に各1台が配置され、注文とともに堆肥散布がスムーズに行える体制となっている。

[堆肥利用料金]

「バラ（フレコンバッグ700L）」4,830円（税込み）

「マニアスプレッド使用料（オペレータ付）」2,500円（税込み）

「袋」配達料込み価格367円（税込み）、配達料抜き価格347円（税込み）



伊賀堆肥センターの看板



同センターの堆肥舎全景



堆肥舎内部



発酵舎投入口



発酵舎内部



発酵舎製品搬出口



袋詰め装置（篩）



袋詰め装置（フレコン用）



脱臭槽



堆肥運搬車